

県政報告

2024

Vol.11

自由民主党広島県議会議員連盟
広島県議会議員《呉市選挙区》

53歳

坪川たつひろ

建設委員会副委員長、国際平和・多文化共生・人への投資促進特別委員会副委員長
議会運営委員、広島都心エリア活性化推進特別委員

連絡先

坪川竜大事務所 〒737-2602 広島県呉市川尻町森2-10-1

TEL(0823)87-2123/FAX(0823)87-6124

自由民主党広島県議会議員連盟

〒730-8509 広島県広島市中区基町10-52 TEL(082)513-4630/FAX(082)228-6587

ご挨拶

拝啓 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日、メジャーリーガーの大谷翔平選手から日本国内にある全ての小学校1万9525校にグラブが寄贈され、全国の子供たちに届けられました。また、先週の結婚報道もあり、彼の活躍は、日本国民を魅了するだけでなく、日本中に笑顔をもたらす、まさにショータイムと感じています。

笑顔をもたらす効果の一つにストレス解消があり、笑うことでストレスが軽減されると言われています。

私が政治活動をする上でのライフワークである「地方創生」、「県土強靱化」こそが、ストレスがなく、県民の笑顔、そして豊かで幸せな暮らしにつながるのではないかと考えています。その観点から令和6年2月定例会予算特別委員会において質問をさせていただきました。引き続き、鋭意努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

敬具

令和6年5月吉日



予算特別委員会テレビ中継の様子



2月定例会 予算特別委員会に登壇

スマホでピッ

3月5日

定例会の様子は

<https://www.youtube.com/watch?v=iVNsflc6lp0>



令和6年 2月定例会

— 県民の笑顔

1 転出超過に対する受止めについて

転出超過の状況に対する受止めと今後の目指す方向性について

【知事】 転出超過の大きなウェイトを若年層が占めており、若年層の減少は、地域経済の縮小、社会保障費負担の増大、地域の担い手不足など、社会・経済活動に深刻な影響を及ぼすことが懸念されることから、本県の重要課題であると認識している。

「社会動態の均衡」に向け、若年層の転出超過の縮減に取り組むこととしており、来年度は、新たなプロジェクト・チームを設置するとともに、転出要因の調査分析を行い、既存施策の磨き上げを図るほか、若者の集積につながる新たな取組の検討など、施策の再構築を進めていく。

【意見】 私の母校である都内の私立大学は例年約10万人以上の受験者がおり、これは全国でもトップ3に入る数字となっている。しかし、広島県からの入学者数は昨年わずか50名程度で、地方出身者は在校生約34,000人のうち20%程度で、ここでも一都六県からの一極集中となっている。

言い換えれば決して広島から首都圏の大学に多く進学しているわけではなく、むしろ県内国立大学を中心とした県内の大学生が卒業・就職を機に転出してしまっている状況であり、必要なのは、卒業後の、「魅力ある仕事」だと考える。

2 若者に魅力のある仕事の創出について

若者の広島への定着につなげるためには、既存の価値観にとらわれることなく、若い世代の意見を取り入れながら、若者に魅力のある仕事を創出する必要があると考えるが？

【知事】 若者から就職先として選ばれる県内企業の増加に向けて、これまで、働きやすく、働きがいのある職場環境の整備を進めてきたところであり、今後は、人的資本経営の導入支援や環境整備、生産性向上に向けたリスクリングの推進と評価・処遇制度の構築にも取り組んでいく。

加えて、来年度実施する若年層の転出要因の調査分析の結果や、若者の意見なども踏まえながら、既存施策の磨き上げと施策の再構築を行うことにより、若者から選ばれる広島県づくりに向けて、全力で取り組んでいく。

【意見】 就職や転職といった仕事を選ぶ際に、いかに広島が選ばれるかだと思う。近年、就職先として人気のあるIT・情報通信業の積極的な誘致も一つの選択肢だと思う。若い世代の意見やトレンドも積極的に取り入れながら、若者に魅力のある仕事の創出が必要である。



はたちの集いにて祝辞

3 牡蠣殻を活用した製品開発やその支援について

牡蠣養殖の維持、発展のため、牡蠣殻を活用した製品開発やその支援を行うべきと考えるが？

【農林水産局長】 かき殻の超過対策については、当面の一時保管場所の確保などに加え、かき殻を使った製品の販路拡大や新たな需要創出の可能性などを、関係部局と情報を共有しながら探っている。

また、かき殻の課題解決を目指す県内企業とスタートアップ企業とのマッチング支援を行い、かき殻から抽出した炭酸カルシウム成分を化粧品等に应用するプロジェクトが立ち上がるなど、多方面での動きが始まりつつある。

県としては、海域での有効活用を進めるとともに、今後とも関係部局と連携し、民間企業への情報発信やマッチング支援などを行うことにより、かき殻の需要拡大につなげていく。

【意見】 江波沖町の県有地を一時的な保管場所として確保したとのことで、これは一時的な対策にはなるが、根本的な解決にはつながらない。長期的に見れば、製品開発などの再利用を進めるべきである。

4 瀬戸内の魚の安定的な供給について

瀬戸内の魚の安定的な供給のためにも、海底耕うんの範囲を広げ、積極的に行うべきと考えるが？

【農林水産局長】 海底耕うんの取組については、将来、底びき網の主要な漁場全体に拡大していきたいと考えており、第一段階は、県による実証試験と効果の検証、第二段階は、漁業者等による試験的な取組、第三段階は、国の予算を活用した本格的な事業化という工程を目論み、取組を進めている。

市町や漁業者が連携して海底耕うんに取り組みたいという動きも出始めており、令和6年度からは、こうした試験的な取組に対して、県独自の事業により支援していきたい。

今後は、国や関係機関とも協議しながら漁場全体への拡大につなげ、栄養塩対策などの取組と併せて、海域の生産力を高めていく。

【意見】 当初予算に「瀬戸内さかなブランド化推進事業」があるが、そもそも魚が獲れなくなってしまうと、「おいしい」はさすが、「おいしい」になってしまう。ブランド化を推進していくには、安定的な供給が不可欠である。

5 日鉄の跡地活用に向けた調査の内容について

今回実施する調査とは具体的に何を行うのか、また、調査結果をどのように今後の跡地活用につなげるのか？

【知事】 日鉄跡地の利活用検討に係る調査は、国内外の成長産業や企業動向、ニーズの把握、呉地域の特徴の整理・検証、広大な土地や工業用水、ふ頭設備などのインフラ状況などを踏まえて、雇用創出や付加価値創出など、期待できる地域経済への影響について調査するものである。

日本製鉄は跡地利活用に関し、「行政と連携しながら責任を持って対応していく」と表明されていることから、この調査で得られた結果も踏まえながら、今後の地域経済の活性化につながる跡地利活用策となるよう、関係機関と協議していく。

【意見】 現在の設備は、今後、10年ほどをかけて解体を進めていくとされている。所有者が日鉄であるため、行政としてでき

予算特別委員会

につながる —

ることが限られる部分もあると思うが、地域の活性化のためには、可能な限り、早く跡地活用されるべきである。調査結果が、日鉄の思い切った行動につながるよう、また、できるだけ早く活用されるよう、知事のリーダーシップを発揮し、日鉄、呉市と十分に連携してほしい。これが、政治的メッセージというものである。

6 防災・減災・県土強靱化における都市計画の在り方について

防災・減災・県土強靱化における都市計画の在り方について

【都市建築技術審議官】都市計画の最上位計画となる都市計画区域マスタープランにおいて、災害リスクの高い区域における都市的土地利用を制限し、災害リスクの低い区域への居住誘導に取り組むことで、安全・安心に暮らせる都市の実現を目指している。

これに基づき、市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域に編入し、住宅などの土地利用を抑制する逆線引きを推進しているところであり、来年度には、一部区域におきまして、都市計画変更手続きを行っていく。

加えて、市町が策定する立地適正化計画においては、安全性と利便性の高い区域を居住誘導区域として定め、必要な防災・減災対策を盛り込んだ「防災指針」を策定し、区域内の安全性の向上に向けた取組を進めている。

〈意見〉災害リスクを軽減させるためには、災害経験を素早く反映させるなど常に災害リスクを見据えた都市計画の更新が重要である。県民が安心して暮らせるまちとなるよう要望する。

7 外国人が安心できる生活環境の整備について

外国人から選ばれるためには、外国人が抱える問題に寄り添った相談体制整備など、安心して生活できる環境の整備が必要だと思うが、県としてどのように取り組んでいくのか？

【地域政策局長】言葉や生活習慣の違い等から生じる課題のほか、労働や法律など、専門的な課題にも適切に対応できるよう、ひろしま国際センターに12言語による外国人相談窓口を設置している。

また、専門相談員を市町へ派遣する1日出張相談や市町の相談員を対象とした研修の実施など、外国人が相談しやすい環境づくりに取り組んできた。

このほか、市町と連携して、地域日本語教室の拡充や、外国人が地域とつながりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくりを推進している。



在ベトナム駐日大使と外国人材について意見交換

今後とも、関係機関と連携し、外国人の方々の声を的確に把握しながら、外国人が孤立することなく安心して生活し、活躍できる環境を整備していく。

〈意見〉今後、人口減少が加速する日本において、外国人材の有効活用なくして「経済成長」「国力維持」はない。外国人材の円滑な受入れ、定着が進むとともに、安心して生活し働くことができるよう要望する。

8 外国人の日本語教育の充実について

今後、外国人が活躍していくためには、地域における日本語教育の充実が必要だと思うが、県としてどのように取り組んでいくのか？

【地域政策局長】本県においては、県内に在住する外国人が、日本語を学ぶことに加え、孤立することなく地域社会に参加できる地域コミュニティ拠点として、地域日本語教室の拡充に令和元年度から取り組んできた。

具体的には、地域日本語教室の運営を担う日本語学習支援者のための研修等や、地域日本語教室の空白地域における新規開設を行う市町等への支援を実施している。

〈意見〉外国ルーツの児童は義務教育の対象ではないため、未就学となっている場合が多いといった状況もある。外国人が安心して生活するためには、家族を含めた支援が必要である。

9 一人1台端末を活用した教育について

広島県内の小中学校における一人1台端末の活用状況とその効果について

【教育長】令和5年度全国学力・学習状況調査の結果によると、授業で活用した頻度や、端末の持ち帰りに関する質問項目の多くが全国平均を上回っており、端末の活用が定着してきている。

各学校においては、児童生徒が主体的に学習を企画・実践する自由進度学習など、授業等で端末を日常的に活用することにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」の取組が積極的に進められている。

さらに、英語教育の充実に取り組む指定校においては、海外の学校の中学生と一緒に英語の授業を行うなど、オンラインの機能を生かした、新しい学習活動にも取り組んでいる。

こうした様々な取組により、児童生徒の主体的に学ぶ姿がこれまで以上に見られるようになったことが、一人1台端末の効果であると考えている。

10 学習者主体の教育への転換について

これまで広島県では早くから、自らが問いを立て、解決策を導くような力を養うため、教育者主体から学習者主体への教育を進めてきたが、学習者主体の教育の更なる推進に向けて、どのように取り組んでいくのか？

【教育長】小中学校においては、これまでの探究的な学びを中核にしたカリキュラムの開発・実践などの取組に加えて、令和6年度からは、学校独自のカリキュラム改善に取り組む、市町教育委員会の挑戦を支援することとしている。

高等学校においては、STEAM型カリキュラムの実践やカリキュラム・マネジメントの視点に立った各教科の深い学びの実現を目的とした研修を、新たに全ての高等学校を対象に実施し、探究的な授業づくりを推進していく。

このような取組により、各学校のカリキュラムの質的向上を図るとともに、探究的な学びや個別最適な学びなどを推進することができる教員の人材育成を進め、「学びの変革」の深化に全力で取り組んでいく。

〈意見〉大人が決めた枠の中に当てはめる学校教育ではなく、子供たち自らが問いを立て、解決策を導くような力、すなわち「生きる力」を養う教育が、これからの時代を生きていく子供たちには必要である。

Activity 坪川たつひろの活動



12月
教育問題研究調査会会長として
古巣ライオン(株)の科学教育支援活動を調査



12月
インド タミル・ナド州にて
経済交流協定の締結式



1月
呉市食品衛生協会新年互例会にて祝辞



1月
呉隊友会・呉水交会にて



1月
呉飲食組合新互例会にて祝辞



2月
豊町産業文化祭にて



2月
税務団体新年互例会にて



3月
呉昭和高等学校 閉校式・除幕式



3月
剣道大会にて祝辞



3月
少林寺拳法大会にて祝辞



3月
ユニタール広島事務所開所式にて



4月
野呂山山開きにて祝辞

プロフィール

昭和46年 呉市川尻町生まれ
祖父は坪川蔵之助(元川尻町長)
父は坪川禮巳(元広島県議会議員、清水ヶ丘学園理事長)

平成元年 広島県立広高等学校卒業(40期)
平成5年 明治大学理工学部工業化学科卒業
平成5年 ライオン株式会社研究開発本部入社
平成9年 株式会社 坪川毛筆刷毛製作所入社
平成21年 呉広域商工会青年部長
平成25年 呉法人会青年部会長
平成31年 広島県議会議員 初当選
令和元年 常任委員会 建設委員
特別委員会 地域魅力向上・健康を支える社会基盤強化
対策特別委員

令和2年 常任委員会 総務委員
特別委員会 決算特別委員

令和3年 常任委員会 建設委員
特別委員会 国際平和・観光振興対策特別委員

令和4年 常任委員会 警察・商工労働委員
呉市地方港湾審議会委員
自民大志会が自民議員連盟に合流

令和5年 2度目の当選
議会運営委員
常任委員会 建設委員会副委員長
特別委員会 国際平和・多文化共生・人への投資
促進特別委員会副委員長
特別委員会 広島都心エリア活性化推進特別委員

SNSで日々の活動を配信中!!



坪川竜大 公式



坪川竜大 公式

